

渡辺ハウジングOBの皆様と
未来のお客様にお届けする

やすらぎ通信

渡辺ハウジング
03-3959-8743



うっとうしい梅雨の時期になり、雲の晴れ間の青空がなつかしく思われるこの頃です。

シトシト降り注ぐ雨は、大地や樹々を潤して、日本が水の国で

あることを感じさせてくれますが、洗濯物が乾きにくい、カビや異臭、食中毒が心配・・・等など、特に主婦にとっては頭の痛い時かもしれません。

少し憂鬱ですが、農作業にかかわる方たちには必要な雨であり、水不足も気掛かりですので、しばらくは自然に任せることにしましょう。



最近では、デザインやカラーが豊富な、傘やレインブーツなどもありますので、雨の日を楽しむのも一案かも？

気候の変化に伴い、体調を崩される方もいらっしゃるかもしれませんが、青、白、紫やピンクと色とりどりの紫陽花に癒されつつ、お元気でお過ごしください！



建築のいろはにはほへと・・・？

【建築条件付き土地とは？】

土地を選ぶ際、【建築条件付き土地】という言葉を見聞きすることがあるかもしれませんが、今回はそれについて説明させていただきます。

建築条件付き土地とは、土地を購入して住宅を建てる際、あらかじめ建築業者が指定されている土地を指します。

こうした土地は、往々にして駅から近いとか、交通の利便性が良いとか、方位が東南の角地であるとか、土地を求める人にとっては良い条件が揃った好物件というケースがほとんどです。

不動産業者からすれば、通常の物件よりも利益設定を大きくして販売したいというのが本音です。そこで、土地の販売による利益と共に、住宅の建築でも利益を得るため、付き合いのある住宅会社（又は自社の建築部門）との建築契約を土地販売の条件とし、住宅建築

でも利益を確保するのです。

この場合、商談の主導権は販売業者・建築業者にある状況となるので、価格が多少割高になったり、プランの自由度が低くなるという懸念も拭えないのが現実です。

又、どうしても希望する住宅会社に建築契約を依頼したい場合などは、建築条件を解除する代わりに、建築での利益分をあらかじめ土地価格に上乗せして購入しなければならないといった可能性も考えられます。

土地がなければ家を建てることはできません。

多くの人は、土地を新しく探し、購入することになりますが、基本的に素人が独自に土地を見つけ出すことは難しいので、具体的には、「その道のプロ」に相談するのが得策といえると思います。

水無月（みなづき）

6月の別名です。

この時期は、1年を通じて最も雨量が多くなる時なのにもかかわらず、“水の無い月”って変なのと思われやすいですね。

でも、「水無月」の“無”は、“の”に当たる連体助詞ですので、「水無月」は、“水の月”ということになります。農業に携わる地域では、田植えが済んだ後、田に水を張る必要があることから、“水の月”→「水無月」と呼ばれるようになったようです。

湿気を多く含んだ雨が降り続く梅雨の時期は憂鬱なものですが、農作業にとっては大事な雨です。

京都では、6月30日の「夏越しの祓（なごしのはらえ）」に、「水無月」と名がついた和菓子

いただく習慣があるそうです。

季節を楽しむ、いかにも京都らしいすてきな習慣ですね。



初めての父の涙



6月の第3日曜日は父の日。

母の日と比べると、存在感の薄い(?)父の日ですが、皆さんは、どんな風にお過ごしでしょうか?

普段は、照れ臭さもあって、なかなか言葉や態度で伝えられない思いがたくさんあるはず。

今回は、受験生時代のお父さんとの大切な思い出を持つある女性のお話をお伝えします。

皆さんの中にも、同じような経験をお持ちの方もいらっしゃるかもしれませんね。

私の父はとっても短気で、すぐにキレるし、怒鳴るし、そのくせ普段は無口で、いつも黙ってタバコを喫っているだけ……。そんな父のことを、私はあまり好きではなかったのです。

私のこと、本当に大切に思ってくれているのかな?なんて考えることも時々ありました。

そんな中、私は中学受験をするために、一生懸命勉強をしていました。

家で、いろいろと教えてくれるのは父の役目で、毎日毎日、父が付きっきりで勉強をみてくれました。

そして、できないと、「ここは、さっき教えたばかりだろ。なんで解らないんだ!」と怒られたりしたことも度々ありました。

でも、良い中学校に行きたかった私は、頑張って勉強を続け、希望校を受験しました。

そして、ついに第一志望の中学校の合格発表の日が来たのです。

正直言って、私は合格する自信があったのです。でも、でも・・・結果は不合格。

ショックで涙も出ませんでした。

その帰り、父が車で私を迎えに来てくれました。

「どうだった?」

「ダメだった・・・」

「・・・そうか」

父はそう言ったきり、あとは何も言わなかった。

車に乗ってしばらくしてから、私はふとバックミラーを見たのです。

すると、あの一見冷たいと感じていた父が目を真っ赤にして、歯を食いしばって、必死で涙をこぼさないように耐えている顔がうつりました。

それは、私が見た初めての父の涙でした。

その瞬間、泣くまいとこらえていた私の目からも大粒の涙が溢れ出しました。

口には出さずとも、いつも私のことを心配し、気遣ってくれていた父、そんな父が今は大好きです。

あらためて

「お父さん、本当にありがとう!」



「編集後記」

いよいよ梅雨の時季を迎えました。

建築現場では、雨のため作業ができない工事がありますので、ここしばらくは特に空模様気がになります。

けれど、水は私たちの生活においてとても重要です。

料理、洗濯、掃除、入浴など、そしてこれから夏場に向け熱中症対策としても欠かせません。

あまり毛嫌いせず、感謝しつつこの時季を乗り切りましょう。

色とりどりの紫陽花は、雨に濡れると一段と美しさを増しますのので、お気に入りのレイングッズでお出掛けしてみませんか?

今月号もお読みいただき有難うございます。

※「やすらぎ通信」をメールでご覧いただけます。

ご希望の方は、アドレスをお知らせください。

また、ご不要の方もご一報ください。

編集責任者

渡辺 田鶴子

